

【概要】

1. 新規採用薬 : 該当なし
外来限定採用 : 該当なし
2. 供給
3. 採用変更
4. 添付文書改訂
5. 添付資料

1. 新規採用

①院内採用 該当なし

②外来患者限定採用 該当なし

2. 供給

●出荷調整

・ルリコナゾールクリーム 1%「イワキ」 : 製造トラブルによる一時的な出荷停止

3. 採用変更 ※①-③:在庫消尽次第切り替え ④:在庫消尽次第終了 ⑤:マスタ閉鎖

①内服

[院外採用 変更]

・カリジノゲナーゼ錠 50 単位「サワイ」 → 「日医工」 : 経過措置に伴う変更

②注射

該当なし

③外用

該当なし

④院内採用終了（在庫消尽次第採用終了）

・ニューモボックス NP シリンジ キャップボックス採用に伴う

⑤院外採用終了 ※経過措置薬品は経過措置日にマスタ閉鎖

アスベリンドライシロップ 2%(20mg/g) : 最終処方 24.8、2 年間処方 4 回

アドソルビン原末 : 2 年間使用なし

エビプロスタット配合錠 DB : 最終処方 24.9、2 年間処方 3 回

エベレンゾ錠 50mg : 最終処方 24.8

オセルタミビル DS 3%「サワイ」 : 最終処方 24.12、2 年間処方 1 回

ガバペン錠 200mg : 最終処方 24.9、2 年間処方 1 回

カルナクリン錠25 : 最終処方 24.7、2 年間処方 2 回

クラシエ小柴胡湯エキス細粒 KB-9(3g) : 最終処方 24.11、2 年間処方 2 回

クラリスロマイシン錠 50mg 小児用「NPI」 : 最終処方 24.10、2 年間処方 3 回

コデインリン酸塩散1%「フソー」 : 2 年間使用なし

サイトテック錠 200 μg : 最終処方 24.6、2 年間処方 1 回

サリベートエアゾール (50g) : 最終処方 24.12、2 年間処方 2 回

セディール錠 10mg : 最終処方 24.6、2 年間処方 3 回

ソフラチュール貼付剤 10cm : 最終処方 24.10、2 年間処方 1 回

デパケン細粒 40%(400mg/g) :最終処方 24.10、2年間処方 3回
トレミフェン錠 40mg「サワイ」 :最終処方 24.9、2年間処方 4回
ハーボニー配合錠 :最終処方 24.12、2年間処方 3回
ファロム錠 150mg :2年間処方なし
フルタイド 50 ディスカス(60bL) :最終処方 24.11、2年間処方 2回
プロパフェノン塩酸塩錠 150mg「オーハラ」 :最終処方 24.12、2年間処方 1回
ペリアクチン錠 4mg :最終処方 24.5、2年間処方 2回
メジコン散 10%(100mg/g) :最終処方 24.8、2年間処方 1回
メプチンシロップ 5μg/mL :最終処方 24.9、2年間処方 2回
ベノキシール点眼液 0.4%(5mL) :最終処方 24.8、2年間処方 1回

4. 添付文書改訂

ロミプレート皮下注 250μg 調製用

●4.効能又は効果 追加

持続性及び慢性免疫性血小板減少症

●5.効能又は効果に関連する注意 追加

<持続性及び慢性免疫性血小板減少症>

5.4 免疫性血小板減少症の発症又は診断後6ヵ月以上経過した患者に投与すること。

アミカシン硫酸塩注射液 100mg,200mg「SW」

ドブタミン点滴静注液 100mg,200mg キット,600mg キット「VTRS」

●15.1 臨床使用に基づく情報 追記

15.1.2 本剤は添加剤として亜硫酸塩を含有している。喘息患者では非喘息患者よりも亜硫酸塩に対する過敏症が多く認められるとの報告がある。

エプレレノン錠 25mg,50mg,100mg「杏林」

●2.禁忌(次の患者には投与しないこと)

<効能共通>

2.6 イトラコナゾール、ボリコナゾール、ポサコナゾール、リトナビル含有製剤、コビシスタット含有製剤、セリチニブ、エンシトレルビル フマル酸及びロナファルニブを投与中の患者(10.1 参照)

レベチラセタム錠 250mg,500mg,ドライシロップ 50%「日新」

●8.重要な基本的注意 追記

8.2 眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがある。自動車の運転等危険を伴う機械操作の適否は、関連学会の留意事項を十分理解の上、医師が慎重に判断し、危険を伴う機械操作を行う場合には十分な注意が必要であることを適切に患者に指導すること。また、眠気等があらわれた場合には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう、患者に指導すること。

デカドロン錠 0.5mg,4mg

●11.1 重大な副作用 新設

11.1.1 誘発感染症、感染症の増悪(いずれも頻度不明)

B 型肝炎ウイルスの増殖による肝炎があらわれることがある。また、進行性多巣性白質脳症(PML)が認められることがあるので、本剤の投与中及び投与終了後は患者の状態を十分に観察し、意識障害、認知機能障害、麻痺症状(片麻痺、四肢麻痺)、構音障害、失語等の症状があらわれた場合には、MRI による画像診断及び脳脊髄液検査を行うとともに、適切な処置を行うこと。(8.2、8.3、9.1.1、9.1.2、9.1.9 参照)

エンハーツ点滴静注用 100mg

●4.効能又は効果 追加

HER2 陽性の進行・再発の固形癌(標準的な治療が困難な場合に限る)

ポライビー点滴静注用 30mg,140mg

●4. 効能又は効果 下線部追加

- ・以下の大細胞型 B 細胞リンパ腫
びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫、高悪性度 B 細胞リンパ腫
- ・再発又は難治性の濾胞性リンパ腫

クラリスロマイシン錠 200mg「サワイ」

●10.1 併用禁忌 追加

- ・アゼルニジピン[カルブロック]、オルメサルタン メドキシミル・アゼルニジピン[レザルタス](2.2、16.7.1 参照)
：アゼルニジピンの血中濃度が上昇し作用が増強するおそれがある。

コルヒチン錠 0.5mg「タカタ」

●10.1 併用禁忌 追加 :セリチニブ(ジカディア)

ソル・コーテフ注射用 100mg,静注用 250mg,500mg

ソル・メドロール静注用 40mg,125mg,500mg,1000mg

●11.1 重大な副作用 下線部追加

11.1.2 感染症(頻度不明)

ウイルス、細菌、真菌、原虫、寄生虫等による感染症の誘発又は徴候の隠蔽、感染症の悪化等があらわれることがある。これらの感染症の発現頻度は、副腎皮質ホルモン剤を増量すると高くなるとの報告があるので、抗菌剤等による適切な処置を行うこと。また、進行性多巣性白質脳症(PML)が認められることがあるので、本剤の投与中及び投与終了後は患者の状態を十分に観察し、意識障害、認知機能障害、麻痺症状(片麻痺、四肢麻痺)、構音障害、失語等の症状があらわれた場合には、MRI による画像診断及び脳脊髄液検査を行うとともに、適切な処置を行うこと。

アイリーア 8mg 硝子体内注射液 114.3mg/mL,注射用キット 114.3mg/mL

●4. 効能又は効果 追加

網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫

フィブリノゲン HT 静注用 1g「JB」

●4. 効能又は効果

- ・先天性低フィブリノゲン血症の出血傾向
- ・産科危機的出血、心臓血管外科手術における出血に伴う後天性低フィブリノゲン血症に対するフィブリノゲンの補充

5. 添付資料

医療安全情報 No.233 「輸液ポンプ使用時の フリーフローによる急速投与」

医薬品・医療機器等安全性情報 No.428

DSU No.344